

12月議会

「観光と環境」をテーマに質問

無所属3名でリレー質問

12月議会では、無所属の3名（北山早苗さん、林奉文さん、私）で、「観光と環境」を共通テーマにして、リレーで質問を行いました。県政史上初の試みということで注目されました。

3名は、合宿を含む学習会を重ね、これからの長野県観光は、環境との調和で個性を出して、質の高い観光地づくりをすすめていく必要がある。」という共通の認識から、限られた質問時間を最大限生かすために連携しようということになりました。

一番手の北山県議（南安曇）は、「持続可能な観光地づくり」の理念とそれを支える環境教育のあり方について、スウェーデンの「森の教育」を紹介しながら、県の姿勢をただしました。

私は二番手で、具体的な施策と推進体制を分担し、三番手の林県議（駒ヶ根）は、山岳環境保全を中心に質問しました。

個性ある観光地づくり

私は、観光をめぐる国内外との競争が激しくなる中で、環境保全において国際的にも評価されるような個性を発揮する必要があると考えています。そこで、バイオディーゼル（植物性軽油）を山岳観光に導入することや小規模水力発電や森林バイオマスの観光施設での活用、生ゴミの資源化などの具体的な環境配慮の取り組みを提案しました。また、県民による県内観光の振興により、県内観光を評価しあう仕組みも提起しました。

そして、こうした多面的な取り組みを推進する機関として、

新しく設置される予定の「観光局」については、たんに県観光協会の名称変更ではなく、権限と財源の裏打ちのある組織とするべきことを、9月議会に引き続き強調しました。

知事に提言書を提出

3名の質問を体系的にまとめ、提言書として、12月17日、知事に提出し、懇談しました。知事は、とても重要な指摘と述べ、具体化に向けて意見交換をすすめることを確認しました。

余談ですが、知事は、県道大町扇沢線の北アルプス交通のバスが、「レトロな感じのデザインで気に入っている」と述べたり、大町での小水力発電の実験を評価したりしていました。

議会運営をめくって

12月議会は、9月議会に続き、いわゆるガチンコ方式でした。中には、休憩動議を「かちとる」みたいな錯覚をしている議員もみられました。理事者の側も質問に正面から答えていないという印象が残りました。私は、こ

の際、ガチンコ方式は改めるべきだと思っています。

しかし、議会の指摘を受けて、急ぎよ組織体制に関する条例案を提出するなど、理事者側に歩み寄りの姿勢が見られたのは良かったと思います。

自衛隊のイラク派遣の問題では、「自衛隊友の会」の会員である私としては、隊員やその家族の心境を思い、「中止」を求める決議に賛成しました。

学校建替え工事に際し、県が県産材利用の観点から、あらかじめ債務負担行為で木材を調達する修正予算に対し、削除を求める修正案が一部議員から出されましたが、私は県の方針に問題なしと考え、反対しました。



提言を知事に説明

新年の「あいわじ」



新年おめでとございます。みなさまにとって旧年に増して喜びの多い年となりますことを心より祈願いたします。

昨年は、私を新人として県議会に送り込んでいただき、早くも10ヶ月となりました。元気に議員活動ができるのもみなさまからのご期待あればこそと念じて、新しい年を引き締まる思いで迎えています。

今年「国際米年」

さて、今年「国際米年」です。国連は「米作は貧困から救う」と訴え、貧困国などでの米作普及に先進国が協力するように呼びかけています。昨年は「国際水年」でした。水や食べ物を得られなくて死亡する人は世界に年間数百万人もおり、その大多数は子どもたちだと指摘されています。水や食料に恵まれた私たちの暮らしをありがたく

思うとともに、同じ地球上の不幸を真摯に受けとめなければならぬと切に思います。

日本では、米作は比較的保護されていますが、その他の食糧の自給率は低く、欧米先進諸国が計画的に自給率を高めていることと比べると、安全保障上も問題があります。また、輸出する側も、輸出作物に偏った農業は貧困の原因となっており、森林伐採や砂漠化など地球環境問題の一因でもあります。その一方で、日本国内では減反政策や農家の高齢化などで、耕作放棄地が増え続けています。

そろそろ、私たちの日本も、極端に海外に食糧やエネルギーを依存することを改めるときではないでしょうか。もちろん、一気に国のあり方を変えることは難しいのですが、足元の地域から生活を変えていく努力をしたいものです。

学校給食のあり方は

いま大町市では、学校給食のあり方をめぐる議論があります。私は、地産地消をすすめることや、子どもたちに食べられることとのありがたさを調理する人たちとのふれあいの中で学習できるようにすることなどの観点から、自校方式を継続し、発展させる方向で地域社会が合意形成に努力されることを願っています。長野県政も地産地消を支援する施策を拡充させており、私も一層努力したいと思えます。

また、松本系魚川道路や国営あずみの公園の整備も重要な課題です。一部には、田中知事によりこれらの事業が中断するのではという心配や誤解がありますが、より現実的で、当初計画された頃からの時代の変化に対応したあり方に改良する方向ですすめられています。私も知事や県当局と対話をし、その方向で働きかけをしてきました。

大町市・八坂村・美麻村の合併については、自然ななりゆきだと思えます。地域おこしの努

力により、それぞれの地域個性が伸びて、全体の魅力が高まることを願ってやみません。

今後も「是々非々」で

国・県ともに、厳しい財政状況の下、新しい時代の流れを機敏に受けとめた田中知事の改革の姿勢を私は高く評価しています。しかし、「是々非々」の精神で、県政の公正な運営が維持されるようチェックを怠らず、地域おこしの政策をすすめるために一層努力していく所存です。ぜひ、今後も厳しい目で私の活動を見守ってください。

重ねてみなさまのご健康と家内安全をご祈願申し上げます。

丸山けんじ県政ニュース

発行：丸山けんじ県政調査室
室長：傘木宏夫
住所：大町市仁科町 3300
Tel.&Fax：0261-22-1035
E-Mail：kensei@omachi.org
URL：kensei.omachi.org
お気軽に事務所にお立ち寄り下さい。県政へのご提案やご意見をお待ちしています。